


錯覚の中で生きている

私たち人間の目で見えているもの
身体や意識で感じているものはすべて
錯覚なのかも知れない... とふと思ふ時があります。

例えば

「色は全然ちがう」

人間の目に見える色は 
他の生物には全然違う色に
見えるかも知れない。

「時間は逆に動いている」

通常 生まれ → 未来に向かて時間は
進んでいくと感じているが
ひもといたらこれも錯覚で 実際は
死んだ日 → 生まれる日に時間は進んで
いるのかもしれない。

「台本通りに生きている」

明日のことは分からない、もちろん未来も...
と思っているがこれも錯覚で 実際は
自分が作ってきた(生まれる前) 台本通りに
生きているのかも知れない。 ☺

おせ蔵さん まよひ

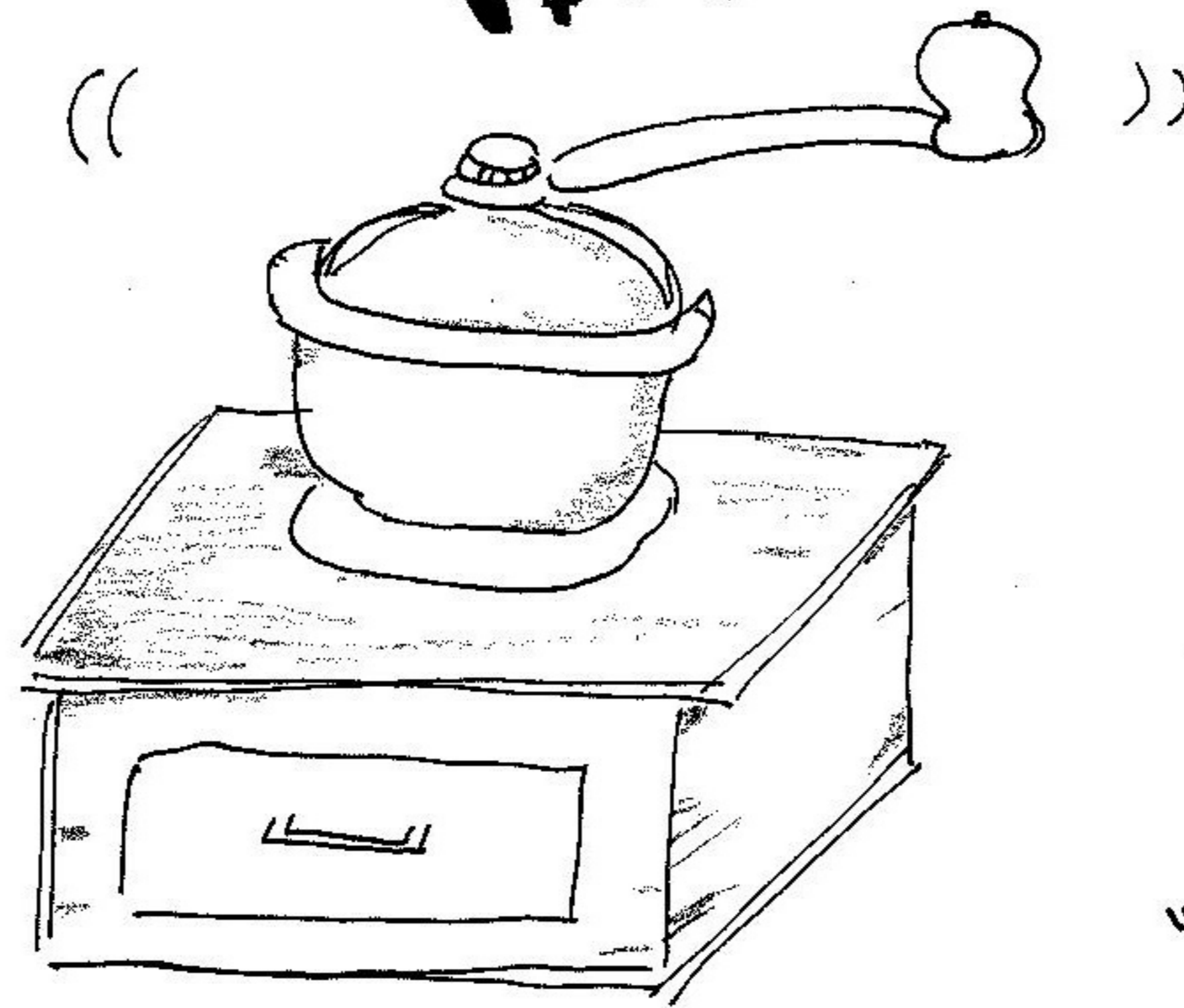
Vol.141

2016年5月

毎いっしょに保険を選びましょうオフィス鳥越

作者: 鳥越介順

ゆっく
り



「あえてゆっくりやる、
ときは呼吸も
ゆっくり深くすると
さらに充実した
ひとときになるでしょう」

時間との付き合い方

世の中の多くの人が 時間に追われ
生きているようです。

いつの時代から そうなったのか...
よく考えみると「時間に追われる」とは
変な言葉である。

生きているものすべての中で人間だけだろう。
しかも先進国の人だけだろう。

どう考える中、私は「時間に追われないぞ!」
とちょっと抵抗しています。それは

コ-ヒ-好きの私は 自宅でコ-ヒ-をたてる
時にコ-ヒ-ミルを挽くのですが
その時はひとつの作業をサッとこなす
ということはせずに 楽しんで
あえて ゆっくり ゆっくり 回すようにしています。

「あえてゆっくりやる」というのが なんとなく
「私は時間に追われないぞ! 人生を楽しんで生きるぞ!」
と宣言しているひとときなんです。

みなさんの人生の中で
「あえてゆっくりやる、は ありますか?」

ありがと
ありがと

